

(別添 2)

【武蔵野市】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

必要なネットワーク速度が確保できている学校数：0 校

総学校数に占める割合：0 ％

武蔵野市では、令和 3 年度からの学習者用コンピュータ使用開始に備えて、令和 2 年度に校内通信ネットワーク機器の更改、基幹通信ケーブルの増強及び学校－インターネット間回線の新規敷設を実施した。

しかし、令和 5 年度に市内各学校にて実施した「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」のネットワーク速度の結果によると、文部科学省が定める学校規模ごとに 1 校当たりの帯域の目安（当面の推奨帯域）を満たす学校がないとの結果になった。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和 6 年 8 ～ 9 月に、市立学校 1 校に対して、有線 LAN 調査、無線 LAN 調査、通信品質調査等のネットワークアセスメントを実施した。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワークアセスメントの結果、インターネット回線の大容量化、ならびに高速な通信方式である IP over Ethernet（IP over Ethernet）に対応したルータの新規設置、及び校内の基幹ネットワーク機器の高性能化が必要との結果となった。

前述した令和 2 年度のネットワーク整備については、市立小・中学校の全校において学校規模に関わらず同スペックの機器・回線を整備しており、かつ同一の事業者によって実施されたため、ネットワークアセスメントで明らかになった改善事項を全校へ適用することによって、文部科学省が推奨する回線速度の基準を全校で達成することが見込まれる。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

令和 7 年 7 ～ 8 月に、インターネット回線の大容量化、ならびに高速な通信方式である IP over Ethernet に対応したルータの新規設置、および校内の基幹ネットワーク機器の入替えを実施する。